



東京都
支部

大江戸通信

第 85 号 平成 28 年 1 月 1 日発行

東京都支部校友会／広報委員会編集部

連絡先：080-5032-1467

発行責任者：金子栄輔

本部校友会事務局：東京都千代田区九段南 4-8-28

Tel/Fax：03-3234-5858

編集責任者：高木典章

リレー随想

—学友会の思い出—

東京都支部・元支部長

肱 岡 堅 一



もくじ

- リレー随想……1～2
- ローカルだより ……2
- 長寿表彰
クイズ
東京英会話クラス
……………3
- 関東ブロック総会 in
埼玉県大会 ……4～5
- 新春名刺広告…6～7
- 通信教育部校友会
図書館計画
平成 27 年度
新年開催要領
編集後記……………8

社会人として、働きながら学問を学ぶには通信制大学があると聞き、昭和38年4月入学いたしました。入学したとたん大量の教科書が送られてきて、どうい方法で勉強をしたら良いか迷っている時、学友会があることを知りました。学友会に入り、いろいろなことを学ぶきっかけを掴むことが出来、卒業できたと思いますので、当時の（東京都）学友会について、少し述べたいと思います。

当時の東京都学友会長は、卒業生の方で、現在の学習センターが実施しているような内容の事をやっていたように記憶しています。レポートの書き方や単位の取り方、スクーリングの受講等の指導は大変役に立ちました。しかし、学生の集まりはあまりよくありませんでした。学友会長をOBがやっているのは好ましくないもので、早く学生の中から選ぶよう学生課の指導もあり、昭和39年総会で現役の学生が会長になり、これを境に学友会活動も活発になりました。例えば、スクーリングでお世話になった先生に出席してもらい、文学散歩「鎌倉めぐり」や、冬期は経済学部の菅平寮を利用して、「スキー」合宿をやったことが思い出されます。当時は仕事が忙しく、自分から名

所・旧跡を訪ねることは難しかった、費用がかかることから、この計画を発表すると参加者がすぐ集まる状態でした。これにより、学部をこえて交流が図られたように思います。皆さん勉学意欲が高く、通信課程にはゼミがないのでそれに代わる何かを作りたい、勉強したいという意見が多く出されました。そこで各学部に研究会を作ろうと



関東ブロック会(平成12年・青山メトロ会館)

いうことになり、諸先生にご指導をお願いし法学研究会、国文研究会、英語研究会、経済研究会、商学研究会等ができ、活発に活動し後輩に引き継がれていったと思います。

スクーリングは、体育祭、芸能祭、雄弁大会が大勢の人を集めて実施されました。

体育祭は、文理学部のある世田谷グラウンドで実施され、各地域ごとにブロック分けされて、どのチームも闘志む

き出して競い合いました。来賓席には、日本大学総長をはじめお歴々が出席されていたので、いろいろな会話ができたことが忘れられません。

芸能祭は出し物も多彩で、スクーリング参加者の中には一芸に秀い出た人が多く、大変なにぎわいでした。雄弁大会は経験豊富な弁士が多く、通信課程に学ぶ人には多才な方が多いことを感じました。審査委員には本学出身の代議士先生もご出席いただき盛大でした。

変わったこととして昭和40年ごろだったと思いますが、通信課程を5年にするという問題がありました。

学生課より、「通信課程を5年制にする」という考えが文部省にあるが、学生はどうかとのお話があり、学生は反対でありましたので、全国の学友会長に反対の署名運動をお願いし、その署名簿を学生課に提出しま

した。私立大学通信教育協会も4年制を進められ、5年制の話はなくなりました。通信課程は4年で単位を修得すれば卒業できますが、後にも先にもこのような運動をしたのは初めての体験でした。

当時の学友会は、学生としての気分を味わうところだったように思います。特に高校を卒業し就職した人は、昼間は仕事に追われていましたので、スクーリングは日本大学で学ぶことを実感する期間だったと思います。受講時間中は勉学に、そのあとは飲み会で学生同士の絆を深めました。現在は、学ぶ方法も変わり、大学に行く時間は少なくとも卒業できるようになり、大学に対する愛着も薄れているようにおもいますが、どうでしょうか。それぞれ目的を持って日本大学に学び、卒業したのですから、日本大学卒業生として、いつまでも日本大学を愛していきましょう。

ローカルだより



わが愛する街「深谷」をご紹介します。

埼玉県支部・元支部長 齋藤 照夫

私が住んでいる本庄市の一つ手前に深谷市がある。埼玉県の北部に位置し、東京から電車で約1時間半。かつて荒船清十郎氏が運輸大臣の時、大臣特権で急行列車を深谷に止めたことで一躍全国にその名が知られることとなったあの町である。江戸時代には中山道の宿場（深谷宿）が置かれ、最盛期には旅籠が約80軒並ぶなど宿場町としても発展した。

深谷市は、埼玉県北部の、利根川と荒川に挟まれた地域に位置している。市の北部には、利根川や小山川によって妻沼低地が形成され、中部から南部にかけては荒川によって形成された洪積台地の楯引台地や江南台地が広がる。気候はやや内陸的で、寒暖の差が大きい。夏は太平洋高気圧による季節風などの影響で暑く、冬は群馬県名物の「嬬天下にからっ風」の乾燥した北風（からっ風）がここ深谷でも吹く。晴天の日が年間を通して多い地域である。そんな我が隣町・深谷市の今をご紹介します。

JR高崎線の深谷駅を降り、改札を抜けて屋外に出たらずひ振り返って駅舎を見てほしい。赤レンガ風の重厚な建物は、東京駅と瓜二つ。これは、東京駅の建築の際に深谷で製造されたレンガが使われたことにちなんで造られたもので、鉄道ファンを中心に全国的な知名度を誇る。

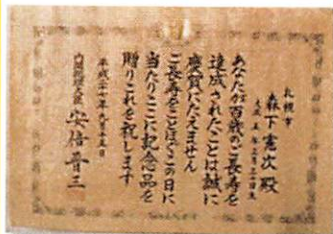
また、近代日本経済の父と呼ばれる渋沢栄一が生まれ育った場所でもある。こうした日本経済発展との縁を感じさせる一方で「グリーンパークパティオ」や「緑の王国」など、エコ時代にふさわしい観光スポットもたくさんある。

多数の特産品の中でも、ネギは日本一の生産量。有名な「深谷ネギ」は明治初期からの歴史を持ち、こだわりのネギが多く栽培されている、また、ユリやチューリップなどの花卉栽培も盛んで、多くの愛好家がいる。ブランド牛「埼玉武州和牛」や「深谷牛」は肉のきめが細かく、サシの入りの良さでも名高い。深谷ネギを使った煮ぼうとうや漬物、日本酒など、すぐれた味覚と技術に彩られた地でもある。

今夜は「深谷牛」と「深谷ネギ」で暖かいすき焼きをほおぼりながら、深谷の名酒「東白菊」で学生のころを思い出しながら乾杯だ。



森下憲次さん(東京都支部所属・北海道在住) 内閣総理大臣から「長寿表彰」授与さる



森下さんは昨年3月めでたく100歳を迎えられ、昨年9月15日の敬老の日に安倍内閣総理大臣より「表彰状」と「銀杯」が授与されました。ご高齢にもかかわらず校友会の活性化と発展に貢献された功績を感謝申し上げ、今後ますますのご健康をお祈りいたします。

<森下さんの略歴>

大正5年3月 函館に生まれる
昭和18年12月 根室の小学校教員に奉職
昭和29年6月 学校給食法が施行される

子供の発育、健康の為に食事が非常に大切と考え、給食に関する栄養学の勉強を始める。40歳から下記の健康食品を欠かさず食べている。

●小麦胚芽、●醸造酵母「エビオス」、●青汁

昭和30年～45年 道内の小中学校を転勤(その間北海道教育委員会・根室教育局に兼務)

昭和50年3月 厚床小学校で定年退職

昭和37年3月 日本大学法学部入学

平成18年3月 放送大学大学院・文化科学研究科 学術修士課程修了

学問は常に好奇心をもつこと。教職の傍ら日本大学へ入学し学士・修士課程を修了したのでこれからは修士論文を書いて栄養学修士を目指します。

正答率4割、あなたもチャレンジ、こたえは？

$$9 - 3 \div \frac{1}{3} + 1 = \square$$

「 $9 - 3 \div 1/3 + 1$ 」の答えは？ ある大手自動車部品メーカーが、高卒と大卒の技術者の新入社員をテストしたところ、正答率は4割にとどまった。中部経済連合会が2015年12月3日に発表した、ものづくりの競争力についての提言に、能力低下の事例として盛り込まれた。

知合いの税理士さんの答えは=9でした。相当の年配者です。1980年代の正答率9割を誇った校友会の皆さんもいまでは正答率が4割にまで落ちているかもしれない？。答えはお孫さんに聞いてください

東京英会話クラス

——平成28年度メンバー募集——

このクラスは、英会話学習を通じ、通信教育部校友会の相互の親睦と校友会の発展に寄与する目的で平成9年に発足しました。現在アメリカ人男性の講師のもと、メンバーの日々の暮らしの中での話題をお話するという形式で学習しています。

メンバーは現在7名いますが、新メンバーを募集しています。入会を希望される方は体験入学してからも入事が出来ますので、ぜひ一度参加してみてくださいはいかがでしょうか？ 入会要項は下記の通りです。

1. 学習日：月1回・第4土曜日
2. 場 所：通信教育部1号館(市ヶ谷)
3. 入会金・月会費・体験学習費：
入会金及び月会費…1,500円
体験学習費……………1,500円(お一人様1回限り)
4. 連絡先：ハガキに住所・氏名・卒業年・卒業学部をご記入の上



〒196-0003 昭島市松原町1-33-3 松村陽江 までお送りください。(クラス広報係 高垣むつ子)

第36回関東ブロック総会 in 埼玉県大会

関東ブロック総会は11月7日～8日の両日、さいたま市にある「ホテルブリランテ武蔵野」で開催された。総会会場がある「さいたま新都心」一帯は、かつて、旧国鉄の大宮操車場があり、大宮駅南端から与野駅付近までの広大な敷地に無数の線路が広がる貨物列車のヤードだった。その広大な跡地にできたのが、高層ビルが建ち並ぶ「さいたま新都心」である。街の印象は私が子どもの頃、漫画やテレビで盛んに描かれていた近未来都市のようである。人工的な街を意識してか、あちこちにオブジェを置いてあったり、草木の植え込みにも配慮がある。

総会は埼玉県副支部長関口さんの司会で開始され、開会の言葉、主催者挨拶に次いで本部校友会の白戸会長から祝辞、また本年度から新たに設けられた米寿表彰では埼玉県支部から松川正登氏が受賞され、会長から感謝状が授与された。引き続き総会に移り茨城県支部の井上洋氏を議長選出、執行部提案通り全議案が承認された。また、第二部では全員参加で「校友会活動活性化の為の検討会」をフォーラム形式で開催、参加者より積極的な意見が出された。この結果は主催者よりまとめられ、次回に発表される予定である。総会終了後別会場でディナーパーティーを開催、ゲストとして参加された埼玉県選出・参議院議員のこうだ邦子氏(現・通信教育部文理学部在学中)が挨拶、その後カラオケ・二次会と交流の輪が夜遅くまで広がった。翌日の大会観光は大宮にある「鉄道博物館」で楽しんだ。



第36回関東ブロック総会 in 埼玉県大会



ブロック会議



通信教育部校友会図書館設置を計画 初代館長は熊本昭典氏に決まる

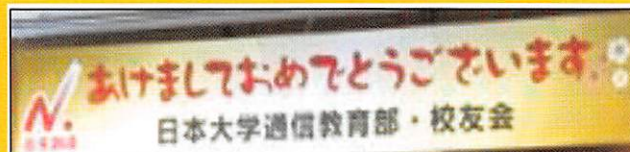
日本大学通信教育部を卒業以来、ご自身の手でまとめられた出版物など校友の図書作品を一堂に集めた図書館(新装なった校友会事務局に設置)を計画しています。下記要領でご出展をお待ちしています。

1. 研究・評論…研究(人文/歴史/法律/経済社会/理工他)、評伝、評論等
2. 地域文化…郷土史、地域誌、民俗記録、地域人物伝、記念誌等
3. 個人誌…自分史、一族史、追悼集、遺稿集、旅行記、趣味等
4. 小説…小説、童話など散文で書かれた物語形式の文芸
5. エッセー…随筆・随想など散文で書かれた小説以外の文芸
6. 現代詩、俳句、短歌など韻文で書かれた作品
7. 画集、写真集、絵本等



——— 出展要領 ———

1. ご自身で創作した作品に限ります。
2. 共同創作もしくは同人誌の場合はご自身の著作が全ページの10分の1以上あること。
3. 句集・詩集など総ページ数が70頁未満の場合は、2項は当てはめない。
4. 原則1人2冊以内。出展数が3冊以上の場合は事前に事務局にお問い合わせ下さい。
5. 予算の関係で有料購入はいたしません。原則として「ご寄贈」をお願いします。



平成27年度新年会開催要領

例年開催される本年度の新年会は下記のとおり開催される。多くの校友のご参加をお待ちしています。



昨年度新年会スナップより

開催日時：平成28年1月23日(土曜日)

全国三役会 11:00~14:00

新年会受付 14:30~15:00

新年懇親会 15:00~18:00

会場：日本大学 桜門会館4階 桜ホール

会費：男性 7,000円

女性 6,000円

新卒業生 4,000円

在校生 2,000円

問い合わせ：日本大学通信教育部校友会事務局

電話&fax 03-3234-5858

※事務局は月・火・金の10時~18時の間在籍しています。上記以外または不在の場合は留守電に残してください。ご連絡します。

編集後記

平成28年(申歳)が幕を開けた。私たち校友会一同にとって、気韻生動する良き年となるよう、心から期待したい。

さて、新春の本誌巻頭を飾るのは、かつて東京都支部長として大きな貢献をなされた肱岡堅一氏によるエッセー。学友会との出会いに始まる充実した学生生活が興味あるエピソードを交えて、さわやかに綴られており、氏の日大に寄せる愛情が、ひしと伝わってくる。ぜひお読みください。

また、お隣の埼玉県支部の元支部長・斎藤照夫氏から寄稿をたまわり「ローカルだより」として

収録させていただいた。お人柄がにじみ出た軽妙な筆致が誠に楽しい。斎藤氏に厚く御礼申し上げます。

ところで、通信教育部校友会では、事務局内に『校友会図書館』の設置を計画、準備中である(本紙8頁参照)。校友諸姉諸兄の著作・図書作品などを寄贈していただくことで蒐集し、貴重な知的財産として積み上げていこうというもの。校友会が取り組む文化事業の一つがスタートすることとなる。初代館長に就かれる熊本昭典氏のもと、新たな校友会ワールドを展開したいものである(た)